

健康いちばん

組合員2万人まで
あと**707人**

ろっこう医療生活協同組合

2011年
8月号

神戸市灘区水道筋6-7-11 / TEL. 078-802-3424 / 発行人: 村上 正治 / 編集: 広報委員会
●組合員数 / 19,293人 ●出資金金額 / 493,741,000円 ●平均出資額 / 25,592円(2011年7月29日現在)



七夕はレクリエーションで楽しみました。

■利用の状況は?
実際に利用者さんはどのようにサービスを利用されているのでしょうか? 川原主任に聞きました。

ケース①
通い・訪問・泊まりを組みあわせて
通い・訪問・泊まりで支援しています。通い利用時はお迎え時に起床からとががわにお連れするまでと、送り時はパジャマに更衣してお休みの準備をしています。夕食はとががわで食べて頂いております。ご家族様にも協力していただき、切れ目のないサービスを提供して

■小規模多機能型居宅介護の特徴は?
小規模多機能には、通い(日中の通所サービス)・泊まり(夜間の宿泊サービス)・訪問(ご自宅での介護サービス)の機能があり、高齢者の在宅生活を支える3つのサービ

今年1月の開設から半年が経過した小規模多機能とががわ。現在登録の利用者さんは17名、順調に利用者さんの登録もすすんでいます。通い・泊まり・訪問のサービスを一体的に提供することで住み慣れた地域で暮らし続けることを支える小規模多機能サービス。半年たった「とががわ」の今をご紹介します。

開設から半年 「小規模多機能とががわ」は今

スを、同一事業所で提供できる地域密着型のサービスです。

従来のようにサービスごとに介護職員が替わることなく、通所サービスの職員が自宅に訪問したり、いつも訪問している職員が宿泊の時にもお世話させていただくなど、同じ職員が全てのサービスを提供するため、環境変化に敏感な認知症高齢者の方等には適しているサービスです。

また、ごく短時間の訪問や、遅めの時間までの通いの利用など利用者や家族の事情に合わせて柔軟にサービスを利用できることも特徴です。利用は登録制になっており、登録定員は25人(通い定員15人・泊まり定員5人)です。

います。週に3日は泊まりを利用しながら、自宅での生活も大切にしています。

ケース②

「夫婦でご利用いただいています」

ご夫婦でとががわをご利用いただいている利用者様。通いと訪問で支援しています。通いの時間帯だけではなく、自宅でも過ごす時間も安心して過ごせる様に支援しています。食事の準備がご夫婦では困難なため、

とががわを支える ボランティア

「楽しくさせてもらっています」

小規模多機能ボランティア

小林静子さん、柴田静子さん



ボランティアの仲間がもっと増えたらいいのと思います。ボランティアの柴田さん(左)と小林さん(右)

開設時から「とががわ」でボランティアをしています。最初は初めてのことで不安でした。帰る時に「これでよかったのかな？」

通いの利用以外の日では訪問サービスとして食事をお届けしています。その際に服薬介助、排泄介助なども行っております。訪問スタッフもいつも通いの時に関わっているスタッフなので、スムーズに行えています。自宅で安全に過ごすため、安全に外にでられる様な環境整備も各専門職と連携しながら考えています。生活全体を支援することで、より深く関わる事ができ、良い関係を築けています。

何も不都合なことなかったかな?」と心配でした。でも、職員や利用者さんのことも少しずつわかってきて、職員さんからは「今日はありがとうございました。またよろしくお願いします。」と言ってもらったり、利用者さんがにっこり笑ったり、利用者をにっこり笑って、昔の事を楽しく話してくれて「ここで食事するのが楽しみなよ」と言ってもらったり、喜んでもらっている事がわかってきて「今日も来て良かった」と思えるようになってきました。今はとても楽しく活動させてもらっています。

小規模多機能はまだ新しい取り組みですが、地域にこういう家庭的なところができて良かったなと思っています。ボランティアの仲間ももっと増えたらいいのと思います。



小規模多機能 とががわ

〒657-0841 神戸市灘区灘南通1-1-1
電話 078-414-7014 Fax 078-805-3550



小規模多機能とががわをご利用いただける方

介護保険の認定を受けている方で、中央区・灘区・東灘区にお住まいの方なら、どなたでもご利用していただくことができます。

※デイサービス、通所リハビリテーション、ショートステイ、訪問介護、訪問入浴等のサービスは、制度上利用できなくなります。訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具レンタル、居宅療養管理指導のサービスはご利用いただけます。

認知症・パーキンソンなどの専門医

難診療所・神経内科特診のご案内

先月の四季のカルテでもお知らせしましたが、難診療所で神経内科特診が始まります。

診察を担当していただくのは中澤健一郎先生。難診療所所長の高野先生の同級生で学生時代から現在に至るまで、ろっこう医療生活協に何かと協力いただいている先生です。

認知症やパーキンソン病、脳梗塞など脳の病気や神経の病気でお困りの方はぜひご相談ください。



中澤 健一郎 先生

淀川キリスト教病院 神経内科
日本内科学会認定内科専門医・指導医、
日本神経学会認定専門医

中澤健一郎先生の難診療所・神経内科特診
毎月第1・3金曜日 17時～19時30分

※お電話でご予約もできます。電話 801 - 6665



『いいき虹の人～私と医療生協～』では、毎月一人一人の組合員さんにスポットをあてて、その人の魅力やユニークなエピソードをご紹介します。ご期待ください。

～戦前・戦中～

父親が小泉製麻に勤めていたので、西郷で生まれ育ちました。両親とも鳥取の出身で、実は家内の実家とうちの実家が隣同士だったんです。だから親同士は知り合いです。

私はずっと神戸にいたので、阪神大水害や神戸大空襲も経験しましたね。大水害は小学校2年の時で、その日は親が迎えに来ないと帰れなかったんやけどうちの父親は水防団で出ていたので、代わりに叔父が迎えに来てくれたのを覚えています。

大空襲ではすぐその道から西が全部焼けただけ、杜宅の畑の広い防空壕に入っていたから助かった。当時はみんな家の床下に防空壕を掘っていたけど、そこに入っていたら助からなかったらうな。

～戦後～

昭和22年から尼崎製鋼所で働き始め、数年後には大規模な90日間ストもやりました。その後、神戸製鋼に吸収合併されて、私も昭和55年からは神戸製鉄所の勤務になりました。加古川製鉄所ができてから縮小されていきましたが、私はここで定年まで勤めました。

～震災～

震災では1階で寝ていた私の母

を亡くしました。私達は2階で寝ていたのですが、起きてみると階段が抜け落ちて、家の前の塀に2階が乗っかっているような状態になっていました。

久江さん「それでも2階は増築した部分で新しかったから窓は割れていなかったんですよね。でもその2階から飛び降りて出た時に足を痛めてしまつて。それもあつて今もずっと足の状態がよくなくて。」

遺体安置所になっていた王子体育館で2晩泊まりましたが、本当に寒くて遺体にかける毛布を被ったぐらいでした。宝塚、明石の向こうの土山にと1年半ほど転々となりました。六甲道診療所にも土山から2人で通いましたね。

久江さん「それでもやはりこちらに戻ってきたくて、小さくてもいいから今の場所に家を再建しようと相談して。」

翌年7月に西郷に戻って来ることができました。

～地域活動～

震災後から地域の仕事をするようになり、今は大石東町自治会の副会長や、西郷連合自治会、都賀川を守ろう会、財産区などで役を

しています。8月は精霊流しの準備で忙しくなりそうです。

久江さん「少しは役を引いたらと言う事もあるんですが、周りの方からはボケ防止にもなるんだし、と言われたりで。私が入院などしなければ何でもできると思います。」

私自身も7年前にくも膜下出血を起こしたんだけど、幸いカテーテル手術で助かりました。動ける間は何でもやろうかと思っています。

～奥さんとし～

結婚してからはもう54年です。久江さん「けんかもしながらね(笑)。でも、私がなかなか外に出られないので買い物などはお願ひしているんです。」

家内が2階に上がるのも大変だから洗濯物を干すのと買い物は私が、炊事などは家内、と分担を決めています。全部私がしてしまつても家内が頼りきつてしまうからね。ただ、私が買い物に行くと5つ言われたら1つは忘れてくるね(笑)。分からなかったら携帯で電話して聞いたり。

もともと出歩くのが好きだから、買い物自体は苦になりません。昔は王子公園を通って布引まで往復したり、一王山から上つて御影に下りてそこから歩いて帰って来たり、とよく歩いたね。三交代で仕事をしていた時でも、朝に六甲まで歩いてそれから仕事に行ったりしていたね。

これからのまままでいけたら何より、と思つて、医療生協のお手伝いも空いてる時間さえあれば続けさせてもらいます。

四季のカルテ

「原発震災と健康」

東雲診療所医師・所長 小西 達也



この文章の前半部分①～③は震災から4週間後の4月7日にある雑誌の原稿としてしたためたものですが、健康いちばんへの転載は問題ないと考えています。当時私が危惧したことは、残念ながら現実となっています。

①ただちに健康に影響のないレベル?

3月22日、原発近郊の町が20マイクロシーベルト/時と発表されたとき、ある教授は「胸部レントゲン1回が50マイクロ(以後、シーベルトを省略)です。ただちに健康に影響のないレベルであり心配はありません。」とテレビで説明しました。室内の被曝量を10%、屋外で4時間過す場合、20マイクロ×4時間+2マイクロ×20時間ですから1日で120マイクロ、2日で胸部レントゲン5枚分の被曝です。CTスキャン1回で6・9ミリ(＝6900マイクロ)ですから、2か月でCT1回分です。そう聞くと多くないようにも思いますが、1年続くなら43800マイクロ＝44ミリシーベルトの累積被曝となり、年間許容量は1ミリシーベルトですから44倍です。

②放射線の湯気を出し続ける「やかん」

震災から3週間後の4月4日、福島県の学校では、毎日放射線を測定するように通達されました。光化学スモッグ警報がでると校庭で遊べなかった時代を思い出しました。この時まで、放射線の測定ポイントも少なく、住民の不安は払拭できていませんでした。

福島市の累積放射線量がやっと発表され、私が心配していた数値より1ケタ少なく、うれし涙ができました。この時点で50マイクロすなわち、4時間戸外活動として年間110ミリの恐れのある20km圏内で避難勧告、10から50マイクロ(年20ミリから110ミリ)の30km圏内で屋内退避勧告でした。チェルノブイリ周辺の汚染地図は有名です。放射線の高い地域は周囲に不規則に散在しており、同心円などではありません。安定した冷温停止が実現しないかぎり、放射性物質の湯気が見えない霧となつて上空を漂い、雨とともに降ってくるという状況が何年も続くかもしれません。気象庁には「SPEEDI」というコンピュータシステムがあり、気象データなどから放射性物質の広がりや予測できるのですが、不正確ということで4月7日現在公表されていません。政府はあらゆるデータを公表し、周辺住民や国民の不安を払拭しなければなりません。

③内部被曝・低線量放射線を恐れるな、あなたも

呼吸や食物などにより体内に入った放射性物質による内部被曝について、充分にはわかっていません。広島・長崎のヒバクシャでも、原水爆実験などで被曝した兵士でも、チェルノブイリやイラクの劣化ウラン弾による子供たちでも、加害者側は「内部被曝の放射線は低線量であり、健康に影響はない」と主張し、補償に応じようとはしません。しかし、ヒバクシャのぶらぶら病、兵士の湾岸戦争症候群、チェルノブイリの子供たちの甲状腺がん、イラクの子供たちの白血病など統計学として証明できていなくても、「増えた」という現場の実感はあるのです。特に、妊婦と乳幼児の内部被曝・低線量被曝

はできるだけ避けなければなりません。被災原発の最前線で被曝しながらも奮闘している労働者には、今後手厚い検診と無償の医療、生活保障を実施すべきことを述べておきます。

④子供たちを守る

チェルノブイリに比べ Fukushima (日本) は雨が多いことが有利です。雨で放射性物質が流れていけば海は汚染されますが、水はけが良い運動場の放射性物質は減ります。水はけの悪いジメジメしたところ、水はけの悪い溝はホットスポットです。晴天で地面が乾燥し風の強い日は舞い上がった砂塵などに含まれる放射性物質を吸い込む可能性があり、最も危険です。雨に当たるとるよりも危険です。子供と妊婦は放射性物質による汚染の少ない食材を選ぶべきです。炊くとき良いですが、もちろんスープを全部飲むなら炊いた意味がありません。関西の人間が福島産の食材を年に数回食べることは危険でしょうか?言うまでもなく微々たる被曝量で「健康に問題のないレベル」です。子供がそこで育たなければならないことが最大の問題です。夏休みの「疎開」などできるだけの支援をしましょう。神戸人は牛肉のセシウムを心配するよりも、若狭をはじめ関西以西の原発を心配すべきです。日本列島の東端の原発以外の原発が事故を起こしたら日本はおしまいです。若狭原発が事故を起こしたら琵琶湖は汚染、西風で名古屋も住めない土地になります。太平洋戦争を時の為政者はやめられませんでした。天皇を守るためか神風で勝つと本気で信じていたのか。今の為政者も原発をやめられないようです。今回の原発事故を例外中の例外と発言する人の胸中が私にはまったく理解できません。

7月16日(土)午後2時から東京ふれあい医療生協の齋木啓子医師をお迎えして、高齢者にやさしい診療所づくりをテーマに職員学習会を開催しました。グループワークも取り入れあつという間の2時間でした。参加スタッフからは、「わかりやすい講義だった。楽しく前向



講師の齋木啓子先生（東京ふれあい医療生協）、梶原診療所での実践をふまえて、グループワークを通じて取り組み方を教えていただきました。

学習会をきっかけに、ステップアップ!! 「高齢者にやさしい診療所づくり」

きにとりくむ必要性を感じた。「高齢者の方には、大きな声でお話をもったが、低音の方が聞き取りやすい」となど意見があつた。「梶原診療所での具体的な取り組みが参考となった。」など参加者全体で、気持ちをあらたに、このプロジェクトをすすめていく決意をしました。



グループワークで診療所の課題について話し合いました。

近畿の仲間と支部活動について交流しました ～近畿ブロック組合員交流会～

7月23日～24日シーパル須磨で近畿ブロック組合員活動交流集会在開催されました。近畿1府4県の24医療生協から、約350名の組合員や職員が集まり、特に日頃の支部活動について交流しました。ろっこう医療生協からは、組合員12名、職員2名が参加しました。

第1日目は、基調報告を受けた後、参加者が分散会に分かれて交流。2日目は、記念講演で「無縁社会」をテーマに、NHKディレクターの板垣淑子さんからお話を頂きました。

参加者の多くは、更なる支部活動発展に向けて、気持ちを新たにしました。



懇親会に出演したろっこう医療生協・コーラス虹の会。東北を元気づけたいという想いから『手のひらに太陽を』を会場の皆さんと一緒に歌いました。

また、在宅での療養には、サービス連携が不可欠です。医師、介護支援専門員、ヘルパーなど日常的に報告、連絡、相談をおこない状況の変化にすぐさ

に当たっています。

ア生活リズムの調整・助言、対応方法のアドバイス⑥在宅酸素、人工呼吸器などの管理⑦ご家族への介護支援・相談など、医療的な側面から在宅での援助に当たっています。

への援助を促し、療養生活を支援するサービスをおこなっています。具体的には、①病気や障がいの状態、血圧・体温・脈拍などのチェック②身体的清拭、洗髪、入浴介助、服薬、食事や排泄などの介助・指導③リハビリテーション(要介護状態の悪化防止・歩行訓練・福祉用具活用の助言)④かかりつけ医の指示に基づく医療処置(床ずれの手当・点滴など)⑤認知症のケア



私たちが訪問しています。

まさしく医療の原点。この精神を胸に、今日も額に汗しながら自動車、自転車地域を訪問し、みなさんに明るい笑顔と看護サービスをお届けできているのが訪問看護ステーションあんずなのです。

受け取らず、そのかわりに1本の「あんず」の木を裏山に植えてもらいました。そして、たくさんさんの貧しい人々を救ったので、ついに裏山は見事な「あんずの林(杏林)」となり、人々はこれを《董仙の杏林》と呼んで、彼の人柄と医術を永遠にたたえたいという話です。

《仁》、《愛》、《慈》、《優》の精神で貧しい人を治療した董奉という名医の話ですが、彼は貧しい人からはいつさい治療代を受け取らず、そのかわりに1本の「あんず」の木を裏山に植えてもらいました。そして、たくさんさんの貧しい人々を救ったので、ついに裏山は見事な「あんずの林(杏林)」となり、人々はこれを《董仙の杏林》と呼んで、彼の人柄と医術を永遠にたたえたいという話です。

ま対応しております。あんずは、2000年10月に開設されました。現在、スタッフは、看護師6名、作業療法士3名、理学療法士1名、事務2名です。花言葉にあるように皆が上品で清楚でありながら、その中に「柔軟な強さ」をひめているベテランのスタッフです。ちなみに「あんず」という名前には、董仙の杏林という中国の古い伝説からとったようです。《董仙の杏林》伝説とは、

東日本大震災・支援行動 保健チームが毎週大船渡へ、

健康管理支援行動開始



仮設住宅を訪問するろっこう医療生協の保健チーム。行政の手が足りないためまだまだ支援が必要です。

7月から岩手県大船渡市の健康管理支援行動が始まりました。毎週2名の保健チームが現地に入り、仮設住宅を訪問して健康チェック・健康相談を行っています。行動後は大船渡市のミーティングにも参加して状況

報告を行い、入居者の要望や課題について意見交換を行っています。大船渡市での行動は年内いっぱいをめどに継続していきます。



大船渡での支援行動の報告は……ろっこう医療生協のホームページで随時行っていますのでご覧ください。
<http://www.rokko-mcoop.or.jp/>

支援は今からが本番!!

ろっこう医療生協の支援活動を支えてください!

つばさ募金にご協力を

大船渡での行動にかかる費用(派遣費用や滞在にかかる費用等)、福島の子供達を神戸に招くための費用など、ろっこう医療生協の震災支援活動にかかる費用に充当するための「つばさ募金(支援活動募金)」にご協力をお願い申し上げます。

募金箱は各診療所・生協本部に設置しています。

郵便振替も
ご利用ください

口座名義:ろっこう医療生活協同組合
口座番号:00940-2-29687
通信欄に「東日本大震災・つばさ募金」と記入してください

医療生協の介護サービス④

訪問看護ステーション あんず

このコーナーでは知っているようで知らない医療生協の介護サービスについてご紹介していきます。

初夏の味覚
海野純子（六甲南支部）



虹のギャラリー

読者のおたより

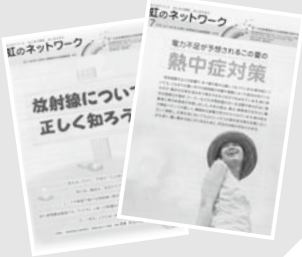
～数独パズル・サボーターズアンケートから～

- 診療所にも各分野の専門職の先生が来られるようになり大変ありがたく、心丈夫に思います。
（灘区摩耶海岸通 U）
- 避難所では冷房もなく、虫が入るため窓も開けられないとか。「こんなところに居たくて居るんじゃない」というのが悲しい現実です。ろっこう医療生協で支援行動に取り組むことになったのは本当に良かったです。応援しています。
（灘区森後町 M）
- この年になってダイエットは？と思い食べ過ぎに気をつけているくらいですが、アイスクリーム大好きでつ

- い食べてしまいます。
（中央区東雲通 M）
- 省エネ・節電はいいことですね。クーラーが嫌いでどうやって涼しく過ごそうかと毎年頭を悩ませています。風通しが良くなるために対角に窓を開けたり、今年は常温で使えるジェルマットを購入して座るときや就寝時に使っています。
（東灘区御影 O）
- いただいたシリコン容器でおすすめメニューを作って満足です。
（中央区八雲通 Y）

医療福祉生協連の機関紙「虹のネットワーク」をご活用ください

医療福祉生協連はろっこう医療生協も加盟する、医療・福祉事業を行う生協の全国連合会です。医療福祉生協連が発行する機関紙が『虹のネットワーク』。部数の関係で全組合員の方にはお届けできていませんが毎月発行される『虹のネットワーク』は各診療所には置いています。「放射能」「熱中症」など時期に応じた情報が読みやすく掲載されていますので診療所にお立ち寄りの際はぜひお持ち帰りください。



患者・組合員のみなさまへ

2011年8月 診療所 夏季休診のご案内

	8/11(木)	8/12(金)	8/13(土)	8/14(日)	8/15(月)	8/16(火)	8/17(水)
灘診療所	神戸市灘区水道筋6-6-3	電話：078-801-6665					
午前 9:00～12:00	○	○	×	×	×	×	○
午後 2:30～ 4:30	×	○	×	×	×	×	○
夜間 5:00～ 7:30	○	○	×	×	×	×	○
六甲道診療所	神戸市灘区桜口町4-5-12	電話：078-811-0555					
午前 9:00～12:00	○	×	×	×	×	○	○
午後 4:00～ 7:00	×	×	×	×	×	○	○
東雲診療所	神戸市中央区東雲通1-4-24	電話：078-262-7236					
午前 9:00～12:00	○	○	×	×	×	×	○
午後 4:00～ 6:30	×	○	×	×	×	×	○

ろっこう笑和会

9月14日(水) 午後2時～

会場：なだ組合員集会所
内容：落語（神戸大・落語研究会）、茶話会ほか
参加費：200円（茶菓代）

お申し込みは医療生協本部まで
078-802-3424

- 一、第27回通常総代会のまとめの件
- 二、今後の理事会活動の件
- 三、東日本大震災の今後の支援活動の件
- 四、大船渡市での被災者健康管理支援行動について
- 五、神戸において、福島県三本松プロジェクト今後の支援募金および財政活動について
- 六、日本医療福祉生協連の要請について
- 七、第24回半年以降の活動課題の件
- 八、教育学習月間
- 九、組合員ふやし・出資金ふやし
- 十、東灘区の組合員集会所
- 十一、組合員・職員活動交流会（仮称）
- 十二、医療福祉生協連近畿ブロック組合員交流会
- 十三、経営課題の件
- 十四、その他の件

第二回理事会報告

（二〇一一年七月二三日）

灘診療所

内科・消化器内科・糖尿病内科
整形外科・放射線科

通所リハビリテーション「つどい」
電話078-801-6665

神戸市灘区水道筋6-6-3
http://www.nada-cl.jp

入院随時（12床）



受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 2:30～ 4:30	○	○	○	○	○	○	
午後 4:30～ 7:30	○	○	○	○	○	○	

※日曜日と祝日は休診

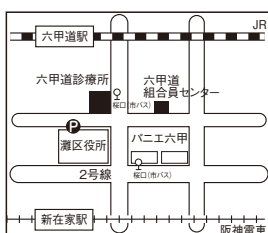
六甲道診療所

内科
小児科

電話078-811-0555

神戸市灘区桜口町4-5-12
http://www.cl-rokkomichi.com/

9ヵ月乳児健診〈予約制〉



受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 7:00	○	○	○	○	○	○	

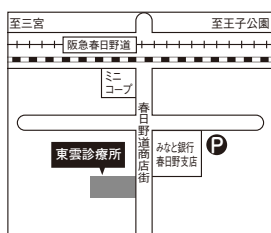
東雲診療所

内科・糖尿病内科
リハビリテーション科

電話078-262-7236

神戸市中央区東雲通1-4-24
http://shinonome-cl.jp/

〈介護保険事業〉ケアプラン
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーションなど



受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 6:30	○	○	○	○	○	○	

ろっこう医療生活協同組合

〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11
TEL 078-802-3424 FAX 078-802-1649
URL: http://www.rokko-mcoop.or.jp/
e-mail: nakama@rokko-mcoop.or.jp

お引越時は住所変更届をお願いいたします。出資金についてのお問合せや医療生協へのご意見、ご要望はこちらまで。

通所リハビリテーション
訪問看護ステーション
ホームヘルプサービス
ケアプラン
小規模多機能

つどい
あんず
あおぞら
医療福祉相談室
とががわ

TEL.078-801-6711
TEL.078-802-3661
TEL.078-805-1023
TEL.078-805-6877
TEL.078-414-7014